

The illustration shows six stylized faces of young people, each with a name written above it in Japanese. From left to right: 1. A boy with short hair and a neutral expression, labeled 'ぎーにょ'. 2. A girl with short dark hair and a wide smile, labeled 'かっしー'. 3. A girl with long brown hair and large eyes, labeled 'かんちゃん'. 4. A girl with short hair and a neutral expression, labeled 'はるちゃん'. 5. A boy with short hair and a neutral expression, labeled 'ますみん'. 6. A boy with glasses and short hair, labeled 'しばにゃん'.

The illustration shows six young individuals with their names written above them in Japanese. From left to right: 1. A woman with short dark hair, labeled ぎーにょ (Giyono). 2. A man with short dark hair, labeled かっこしー (Kakko-shii). 3. A woman with brown hair tied back, labeled かんちゃん (Kan-chan). 4. A woman with short dark hair, labeled はるちゃん (Haru-chan). 5. A man with short dark hair, labeled ますみん (Masumin). 6. A man with glasses and short dark hair, labeled しばにゃん (Shibanya).

2017.10.26(木)発刊
VOL.55
編集者:柏原

ハーバのナナ♪

満月屋改修工事の進捗状況

ウッドデッキが完成したり、窓枠にサッシが入ったりと外からでも変化が分かるようになってきた満月屋。

通りかかる度に「どーだい？完成したか？」と声をかけてもらったり、実際に中まで見にきてくれたりと皆さんに見守られながらちょっとずつ進んでいます！

最近は、武蔵野大学の学生や他にも遊びに来てくれたお客様と一緒にリノベーション体験として、ペンキ塗りやコンクリート敷をしました！

ベンキはダラダラと滴ってしまうし、コンクリートも水平は取れませんでした（笑）初めてのことばかりで「綺麗に」、「完璧に」とはいきませんが、みんなで試行錯誤をしながら失敗を笑いながら一緒に作り上げていくことで、天龍村に自分たちの爪痕を残してもらいたい。そして、「自分が作ったあの場所はどうなってるかな～？」



A horizontal collage of five photographs illustrating the process of birth. From left to right: 1. A woman in a white dress sitting under a yellow fabric canopy. 2. A woman in a purple plaid shirt sitting in a wooden chair. 3. A woman in a white tank top working on a large, patterned cloth spread over a table. 4. A close-up of a blue and white patterned cloth with a small white bowl resting on it. 5. Two women standing together; one is holding a large yellow fabric circle.

出産・子育てのため、
10月をもってありが隊を退任します！

いつも気にかけて頂いて本当にありがとうございます！
去年の9月から、学生の頃に夢だった天龍村村民になって、ありが隊として働かせて頂く
ようになって約1年が経ちました。知っておられる方もいらっしゃるかと思いますが、
現在妊娠9か月で、予定日が12月14日（木）（フライングで満島神社の秋祭りの奉納花火を
打ち上げてしましましたが、赤ちゃんはまだおなかの中です（笑））おそらく女の子だろう。
のことです！出産・子育てに伴い、産休か退任かで迷いましたが、初めてのことだらけで
右も左もわからない新米ママになるので、1年後復帰するのは難しいだろう。というと協
力隊が私にとってのゴールではなくて、今活動でやらせて頂いている民泊「満月屋」、改裝
中の一階を使ってのカフェを生業として暮らしていくというのが目標なので、退任すること
を決めました！まだまだ先の見えない不安定な道ですが、子育てをしながら自分のやりたい
ことや生業が出来る幸せを感じながら、皆さんに支えて頂きながら頑張っていこうと思いま
す！ぜひ、満月屋にベビーの顔を見に来てください！！

住むのと遊びにくるのは違うぞ！と言われましたが、やっぱり天龍村が大好きです！
そう思えるのもいつも助けて頂いている皆さんのおかげです！
これからも天龍村で家族と暮らしていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします！！

十月に入りめつきり寒くなつてきましたね。最近は寒くて朝に布団から出ることが中々できません。ストーブをそろそろ出さねば、と考えておる今日この頃です。

さて、九月後半から十月中旬までですが、まずCM大賞に応募するCMが無事に完成し、長野朝日放送に送ることができました。撮影にご協力いただいた皆様、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。また、今回応募があつた全作品が放送される期間があり、天龍村は十一月九日（木）十一時半からの番組で放送されます。ぜひご覧ください。

二つ目に、写真をインターネット上にこまめに載せようと考え、中井侍の彼岸花や満月屋、お祭りの様子などを写真に收めました。やはり逐一更新することでたくさんの人々に見てもらえるのだなあと感じました。写真を見て天龍村に興味を持つたという声も聞き、今後も続けていこうと思つています。

三つ目に、「ありが隊の日」として、また地区民として、松島の十五社祭りに参加しました。玉串を奉納させていただき、貴重な体験

をすることができました。また、地区の皆様とも交流することができ、楽しいひと時となりました。

四つ目に、個人的なことです。満嶋神社秋祭りに氏子青年として太鼓を叩かせていただきました。太鼓は二年目ですが、初めて天龍村に来た時に宿入れに入れてもらひ、トータルでは四回目のお祭り参加でした。練習中から本番の時、まで、多くの皆様にお世話になりました。応援していただきました。ありがとうございました。来年は二日間通して叩けることを願います(笑)。

最後に、十月二七日(金)から三十日(月)まで米国のミドルベリー大学から留学生が来村し、の農林業を体験します。村民の皆様との交流も学生らの経験や学びとなりますので、見かけた時はお気軽にお話しかけてもらえると嬉しいです。日本語を勉強しているので日本語で話しかけていた大丈夫です!

今月の明花

私の地域共創カレッジで進めてきたことを紹介します。ここで、ここの人達と一緒に暮らしたい。その想いを軸に私の目指す未来は「ずっと買い物ができる村」です。

買い物事業に関する活動をしたくて、買物弱者対策検討委員として視察に行つたところ、自分ができる事のなさに悩んでいます。どんなことが求められているのか、どんなことが私にできるのか：カレッジに集うメンバーは住んでいるところも、職業もみんな違います。だからこそ



パソコンで画面共有をしながら、お互いの顔も見れる環境の中で授業を受けています！ グループワークもあります！

天龍村から
ご・信州サー
リカ・くるみ
長崎県五島列
変喜んでくだ
の動きを広げ
ます！



お祭りの夜、灯る商店
がとっても素敵でした。

天龍村にはあるものの限界があります。ある種のアンテナショップのようになることで、買い物の楽しさを感じ、より多くの人に足を運んでいただきたいと感じています。

多くの意見を求める相談したところ
「地域でつながるのはどうか」と
いう意見をいただきました。そこ
で「Local to Local」地域同士でつ
ながり、互産互消をモットーに
「てんとてん」プロジェクトが始
まりました。概要は、別の地域と
つながり、天龍村にあるものと別
の地域のあるものと変えてもらいま
す。また、それを村内で販売
することも目指しています。

PS 引っ越しました！村澤雄太さんが借りていたお家と交換しました！今後ともどうぞよろしくお願い致します

～球根娘の山ゆりプロジェクト ひがん花でケモノよけ！？？

文：柏原 亜希

【ひがん花があると猪や鹿が寄り付かないかも・・・】というお話を聞き、本やネットで調べてみたところ、、。“効果がありそうだ！！”という資料があつたり、実際に鳥獣害対策の一環として柵代わりに植えている市町村などがありました。(ひがん花には花・茎・葉っぱ・球根・根っこまで、固体全体に約20種類の毒が含まれていて、この毒を動物が嫌がるのではないか、との考え方もあるようです。) ひがん花を植えて猪や鹿から山ゆりを守りたいな！と考え、清水の山ゆり園を囲うようにお試して“ひがん花”を植樹してみました！！開花後、少しずつですが葉っぱが出てきているので、このまま経過を観察していきたいと思います！！！

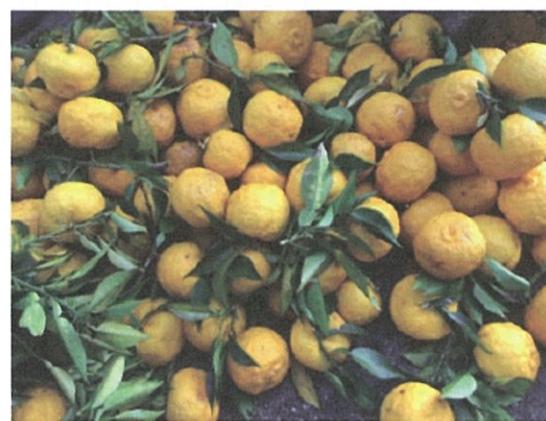


～天龍ゆずっ娘プロジェクト！黄色いゆずの季節が近づいてきました♪♪～

文：柏原 亜希

村の中にある＜放置ゆず＞の木をなんとか出来ないかなー？との考えから始まったプロジェクト。初年度から続けてきて今年で3年目となり、少しづつ軌道に乗ってきたのですが、今年は昨年収穫させて頂いたお家の大半が裏年なのか、あまり実が付いておらず。。。予約量よりも収穫量が少なくなる可能性があった為、新しい収穫先を探そう！と村内をさ迷っていたりします。。。うちのゆずはどこにも出してないよー！畑の肥やしになっとる。”

“〇〇さん家のゆずの木は放置だったような・・・？”などの情報があれば教えて頂けると嬉しいです！お家までご説明に伺いたいと思います(*^_^*) 柏原



なすを実家へ 文：柴田 大輔

こんにちは！最近、起きたら寒かったので上着を羽織って役場へ。しかし、お昼に近づくにつれて暑くなってきてお昼には半袖になるという。何回経験したことか。1日暑いんやったら暑い!!寒いんやったら寒い!!ではっきりしてほしいですね。ホンマに。

さて、10月14日（土）に自分と上野さんが育てた「ていざなす」を実家に送りました。また、両親は親戚や友人などに配ってくれました。親からの評判も上々だったのですが、母親の職場のホスピスでは、歯が無い人でも身が柔らかくて食べることのできる「ていざなす」は一定の歯ごたえがあって好評みたいです。来年も育てる考えると今年のうちに知つてもらえたのは大きいと考えています。

なぜなら来年は自分が育てた「ていざなす」を自分が生まれ育った関西で販売しようと思っているからです。現在「ていざなす」を育てている人の高齢化は進む一方で、自分が起こす行動が少しでも生産者にとって、また自分にとってもプラスになったらと思っています。それでは失礼します。



ありが隊：11月 スケジュール

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

11
2017 November

秘境駅ツアーリポート
(龍泉橋、中井侍駅)
役場研修旅行参加（第2班）

やまびこフォーラム（飯田）
仏法僧
巣箱外し

秘境駅ツアーリポート
(龍泉橋、中井侍)
昇龍まつり

愛知大学
出張講義

イモフェス
(中井侍)

イモフェス
(予備日)

今月の随筆(ずいひつとはずいひつとは、心に浮かんだ事、見聞きしたことなどを筆にまかせて書いた文章のことです。(文：上野 真純)

テレビを観るとハロウィンの話題が多いですね。10月というと、1964年に開催された東京オリンピックの開会式が行われた【10月10日】が、1966年から国民の祝日となった「体育の日」を最初に思い浮かべるのですが、みなさんはどうですか？

地域おこし協力隊として天龍村に来て、あと少しで1年になります。いろいろなことがあって、あつという間に過ぎてしまったように感じています。あせって行動してもうまくいかないことが多いのですが、行動しないと得られないことが多いので、あせってバタバタ行動したいと思います。

阿南少年自然の家から依頼があり、9月30日（土）に中井侍駅から伊那小沢駅までのガイドをしてきました。定員が30人なのに、45人もいたのでピクリリしましたがしっかりと下調べをして、川上正明さんからみっちりと説明ポイントを教えていただいたので、楽しく行うことが出来ました。今度は、天龍村の歴史勉強会で歩きたいと考えています。

10月7日（土）～9日（月）まで栃木県那須町に「月3万円ビジネス」を勉強しに行きました。今まで勉強した集大成で、実現するためのアドバイスをたくさんいただきました。あとは仲間を作り、行動するだけです。



10月12日（木）にJAみなみ信州（飯田市鼎）の「にじの会」ミニディ交流会に行きました。天龍村を含めて8つの地区が集まり、それぞれの地区ごとに発表して食事をした後に、介護予防運動を行いました。



10月16日（月）は、「向方ふれあいの会」（向方老人憩いの家）で調理の補助をしました。このような経験を積み、惣菜を宅配するなど「食」に関する事を形にしていきたいと思います。また、マギー遠山さん（社協）の手品を見る事ができ、とても楽しく過ごすことができました。

